

IV. 担当教員及び主な授業科目

2023年10月1日現在

比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Cultures		言語文化論領域 Language, Literature, and Culture	
担 当 教 員 Position Name	授 業 科 目 Main Subject	研 究 テ ー マ 又 は 研 究 分 野	
教授 GSC Professor 山腰 京子 YAMAKOSHI Kyoko ☎(5224)	第一言語習得論 First Language Acquisition	【第一言語習得】生成文法理論に基づき、主に子供の母語習得の仕組みを探る。主なテーマは疑問文、数量詞、受身と使役など。 e-mail: yamakoshi.kyoko@ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor 高桑 晴子 TAKAKUWA Haruko ☎(5227)	イギリス言語文化論 Language and Culture of Britain	【イギリス・アイルランド小説】極めて近代的な文学形態である小説というジャンルを文化的・社会的文脈において分析する。19世紀のイギリスおよびアイルランド小説を主にネーションとジェンダーという文脈で研究中。 e-mail: takakuwa.haruko@ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor ALLEN David Brian ALLEN David Brian ☎(5229)	第二言語（英語）教育論 Second Language (English) Education Theory	【第二言語習得研究】第二言語の語彙習得における第一言語の影響に関する研究を主とする。第二言語教育とテスト理論に基づいた評価に関する研究。言語テストの波及効果 (washback) の研究もおこなっている。 e-mail: allen.david.brian@ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor LOWE Robert James LOWE Robert James **	英語教育論 English Education Theory	e-mail: lowe.robert.james@ocha.ac.jp	

(注1) GSCIは、Global Students Course担当可能教員である。
(注2) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

ジェンダー学際研究専攻 Interdisciplinary Gender Studies			
ジェンダー論領域 Interdisciplinary Gender Studies			
担当	教員	授業科目	研究テーマ又は研究分野
Position	Name	Main Subject	
教授 Professor ◎	GSC 永瀬 伸子 NAGASE Nobuko (5786)	労働論 Labor Economics	【労働経済学】就業行動、家庭内生産活動など、仕事をめぐる選択行動を経済理論を用いて分析の枠組みをつくり、先験的な予想を立て、統計等を用い実証的に分析することを専門とする。主な領域は「仕事」の選択行動であるが、出産、教育、結婚等の選択もこの枠組みで扱うこともできる。質的研究も行う。 e-mail: nagase.nobuko@ocha.ac.jp
教授 Professor ◎	GSC 棚橋 訓 TANAHASHI Satoshi (5251)	比較文化ジェンダー論 Comparative Studies on Culture and Gender	【文化人類学、ジェンダー文化論】文化人類学の視点から、近現代の異文化混淆の過程に生じるジェンダー秩序の再編に関する研究、社会変動とセクシュアリティ変容に関する研究、「第三のジェンダー」に関する研究を行っている。主なフィールドはオセアニアと日本。 e-mail: tanahashi.satoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor ○	GSC 小林 誠 KOBAYASHI Makoto (5254)	世界政治論 World Politics	【国際政治学、国際関係学】グローバルゼーションによる国際システムの変容を理論的・実証的に研究。特に、非国家アクターが台頭し、地球市民社会が形成され始めて、中央・周辺関係が変化する一方で、新たな暴力の形態が生まれていることに注目。 e-mail: kobayashi.makoto@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 申 琪榮 SHIN Ki-young (5843)	比較政治論 Comparative Politics	【ジェンダーと政治、日韓比較政治、フェミニズム理論】女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど、ジェンダー・フェミニズムの視点から比較政治学の問いに取り組む。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC デ アウカンタラ マルセロ DE ALCANTARA Marcelo (2084)	比較家族法論 Comparative Family Law	【家族法・比較法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor ※	GSC 大橋 史恵 OHASHI Fumie (5341)	ジェンダー政治経済学 Gender and Political Economy	移住家事・ケア労働者の就労や生存をめぐる諸課題や彼女たちの社会運動について、主に中国・香港・台湾・日本でフィールドワークをおこないながら研究を進めている。またポスト冷戦期東アジアのジェンダー秩序や、そのなかで生起するトランスナショナルなフェミニズム運動にも関心をもっている。 e-mail: ohashi.fumie@ocha.ac.jp

(注1) ◎は、2024年度末をもって退職予定であり、○は2025年度末をもって退職予定の教員である。

なお、2023年度末（2024年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

ライフサイエンス専攻 Life Sciences			
生命科学領域 Biological Sciences			
担当教員 Position	Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 Professor	GSC 千葉 和義 CHIBA Kazuyoshi ☎(5370)	細胞・発生生物学 Advanced Cell and Developmental Biology	【細胞・発生生物学】減数分裂や受精、初期発生過程において、細胞内外の情報がどのように伝達され、発生が制御されているのかについて研究している。 e-mail: chiba.kazuyoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 由良 敬 YURA Kei ☎(5514)	計算構造生物学 Computational Structural Biology	【生命情報学】ゲノム塩基配列、タンパク質立体構造座標、タンパク質などの相互作用情報が膨大に収集されるようになった。これらの情報を利用して、コオロギなどの昆虫がどのように進化してきたのかを、計算生物学的に明らかにしていくことを目指す。 e-mail: yura.kei@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 加藤 美砂子 KATO Misako ☎(5293)	植物分子生理学 Plant Molecular Physiology	【植物分子生理学】植物に特有の代謝系に焦点をあて、その調節機構を遺伝子発現のレベルから解析している。特に植物の二次代謝系や脂質合成系を制御する分子機構に着目して研究を進めている。 e-mail: kato.misako@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 服田 昌之 HATTA Masayuki ☎(5579)	生物圏科学 Biosphere Science	【進化生態遺伝学】海洋動物の進化史を遺伝・生態の側面から明らかにする。サンゴ礁生物の多様性やサンゴ礁修復技術についても研究している。 e-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 嶋田 智 SHIMADA Satoshi ☎(5356)	構造植物科学 Structure of Plant Sciences	【多様性生物学】どの様な生物種がどれほどの地球上に存在しているのか?そもそも、どうやって生物は多様化してきたのか?という生物多様性に関する素朴な疑問を明らかにしたいと考えている。 e-mail: shimada.satoshi@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 宮本 泰則 MIYAMOTO Yasunori ☎(5363)	分子細胞生物学 Molecular Cell Biology	【分子細胞生物学】脳の形態形成や損傷修復過程を神経細胞やグリア細胞に着目して分子細胞生物学的に解析を進めている。特に細胞外マトリックスや生理活性脂質の作用について解明する。 e-mail: miyamoto.yasunori@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 植村 知博 UEMURA Tomohiro ☎(5713)	植物オルガネラ動態学 Plant organelle dynamics	【細胞膜機能学】真核細胞のオルガネラの膜ダイナミクスと生理機能を明らかにする。ライブイメージングによる観察によって研究を進める。 e-mail: uemura.tomohiro@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC 近藤 るみ KONDO Rumi ☎(5372)	進化多様性 Evolution and Diversity	【ゲノム進化・進化遺伝学】生態や行動の多様性が生じるしくみを分子レベルで理解することを目的として、ショウジョウバエをモデル生物に用いて研究している。 e-mail: kondo.rumi@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC 佐藤 敦子 SATO Atsuko ☎(5377)	先端動物学 Frontier Zoological Approach in Life Science	【発進化学】生物の発生が環境に反応してどう変化し、どう進化するのか。大量データ解析と発進化学的手法を用いて解明する。 e-mail: sato.atsuko@ocha.ac.jp
助教 Assistant Professor	GSC 毛内 拓 MONAI Hiromu ☎(5303)	生体応答ダイナミクス Dynamics in Biological Responses	【生体組織機能学】脳が生きているとはどういうことか?生きた脳組織が機能する基礎原理について、非シナプスの相互作用の観点から解明を試みている。 e-mail: monai.hiromu@ocha.ac.jp
食品栄養科学領域 Food and Nutritional Sciences			
担当教員 Position	Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野
教授 Professor	GSC 森光 康次郎 MORIMITSU Yasujiro ☎(5757)	食品生理機能学 Food Functionality	【食品機能化学】近年、食品起源の生体調節機能性因子が注目され、その重要性が広く一般にも認識されるようになった。身近となった抗酸化物質から生活習慣病予防効果を示しうる食用植物由来の生理活性物質について、有機化学的・生化学的研究を中心に行っている。 e-mail: morimitsu.yasujiro@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 赤松 利恵 AKAMATSU Rie ☎(5680)	食行動学 Eating Behavior	【栄養教育学】人の食行動に関わる要因について、心理社会的観点から検討し、よりよい生活習慣を獲得するための方法を研究している。 e-mail: akamatsu.rie@ocha.ac.jp
教授 Professor	GSC 飯田 薫子 IIDA Kaoruko ☎(5474)	栄養臨床医学・疫学 Lecture on Clinical Nutrition	【栄養代謝学、生活習慣病学】生体内における糖や脂質の代謝機構を中心に、生活習慣病との関連性から研究を行っている。 e-mail: iida.kaoruko@ocha.ac.jp
准教授 Associate Professor	GSC 市 育代 ICHI Ikuyo ☎(5750)	臨床栄養学 Clinical Nutrition	【臨床栄養学】脂質の代謝異常は生活習慣など様々な疾患の発症に関わっている。病態における脂質の変動と疾病との関連について研究を行っている。 e-mail: ichi.ikuyo@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	GSC 佐藤 瑠子 SATO Yoko ☎(5754)	給食品質管理論 Quality control of food service	【給食経営管理論】給食を生産する際の調理・保管過程における食品の物理的・化学的な変化を把握し、品質管理手法を提案するための研究を行なっている。 e-mail: sato.yoko@ocha.ac.jp
講師 Lecturer	GSC 小林 正樹 KOBAYASHI Masaki ☎(5943)	栄養制御学 Nutritional Regulation	【基礎栄養学】栄養環境や加齢・老化が身体に及ぼす影響に関して、主に動物や細胞を用いた研究を行っている。 e-mail: kobayashi.masaki2@ocha.ac.jp

(注1) ○は2025年度末をもって退職予定である教員である。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

理学専攻 Advanced Sciences				
物理科学領域 Physics				
担当教員 Position	Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor	GSC 出口 哲生 DEGUCHI Tetsuo ☎(5322)	非線形現象解析 Analysis of Nonlinear Phenomena	【数理論理学・物性基礎論】非線形性は多様な自然現象の中で重要な役割を果たす。非線形性のために系は単なる部分の和でない、全体として特有の性質を示す。ソリトンの逆散乱法やベータ仮説法などの数理論理学の手法を用いて、水面の波動、量子スピンの厳密解、箱び目と物理、高分子など幅広いテーマを総合的に研究する。 e-mail: deguchi.tetsuo@ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 古川 はづき FURUKAWA Hazuki ☎(5317)	強相関物理 Strongly correlated electron system	【強相関電子系の研究】強相関電子系物理という視点から、(1)空間反転対称性の破れた超伝導体LaNiC ₂ の特異電子状態、(2)重い電子系超伝導体CeCoIn ₅ の磁性と超伝導の相互関係、(3)銅を含まない酸化物超伝導体Sr ₂ RuO ₄ 系の超伝導対称性、を研究する。 e-mail: furukawa.hazuki@ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 曹 基哲 CHO Gi-Chol ☎(5330)	ゲージ理論 Gauge Theory	【素粒子物理学理論】電弱相互作用、強い相互作用を記述するゲージ理論に基づき、高エネルギー領域における素粒子現象を研究する。超対称性の存在、質量の生成機構、高次元空間の可能性等を検証するための研究も行う。 e-mail: cho.gichol@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 河野 能知 KONO Takanori ☎(2057)	高エネルギー物理 High Energy Physics	【素粒子物理学実験】CERNで行われている高エネルギー陽子・陽子衝突実験ATLASに参加して、最高エネルギーでの素粒子現象の測定および新粒子の探索などの研究を行っている。また半導体飛跡検出器の開発も行っている。 e-mail: kono.takanori@ocha.ac.jp	
化学・生物化学領域 Chemistry and Biochemistry				
担当教員 Position	Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 Professor	GSC 近藤 敏啓 KONDO Toshihiro ☎(5347)	ナノ界面化学 Nano-Interfacial Chemistry	【ナノ界面物理化学・分析電気化学】電気化学反応(電極/溶液界面の電子移動反応)を定量的に理解することおよび燃料電池やセンサなどのナノテクノロジーにつながる分子デバイスを構築することを目的として、原子・分子のレベルで構造制御した界面を構築し、電子移動反応を追跡するとともに、界面の構造変化をその場追跡する。 e-mail: kondo.toshihiro2@ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 森 義仁 MORI Yoshihito ※☎(5346)	複雑系分析化学 Analytical Chemistry of Complex Systems	【非平衡系化学】非線形領域の非平衡系の現象として特有のリズムまたはパターン形成の動的特徴の解析を実験または数値解析を用い進める。非平衡化学の応用として自然環境問題を取り上げる。 e-mail: mori.yoshihito@ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 相川 京子 AIKAWA Kyoko ☎(5345)	糖鎖生物化学 Glycobiology	【糖鎖生物学、細胞生化学】糖鎖修飾によるタンパク質の細胞内局在や分泌性、生理活性の調節機構の解析と、レクチンの生理機能の探索を行う。 e-mail: aikawa.kyoko@ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 棚谷 綾 TANATANI Aya ☎(2716)	超分子構造化学 Advanced Supramolecular Chemistry	【構造有機化学・医薬化学】芳香族有機分子の立体特性や集合体形成を基盤として、新規機能性分子を創製する。また、生理活性物質の設計、合成へと応用し、疾患治療を目指したケミカルバイオロジー研究をおこなう。 e-mail: tanatani.aya@ocha.ac.jp	
教授 Professor	GSC 矢島 知子 YAJIMA Tomoko ☎(5715)	機能性有機化学 Functional Organic Chemistry	【合成有機化学・有機フッ素化学】新規有機合成法を開発し、その手法を用いて合成した化合物の機能の探索を行う。特に有機フッ素化合物に着目し、医薬品、機能性有機材料等への応用を目指す。 e-mail: yajima.tomoko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 宮崎 充彦 MIYAZAKI Mitsuhiro **☎(5717)	分子分光化学特論 Molecular Spectrochemistry	【物理化学、分子分光学】分子間の凝集構造の解明、分子運動・化学反応のダイナミクスについて、分光測定を主たる手段とした実験的研究を行う。複数のレーザー光を利用した電子・振動分光、時間分解分光を気相分子クラスターに適用し、理論計算も援用しつつマイクロな視点から化学現象の解明を目指す。新たな分光法、光源の開発など新規研究手法の開発にも取り組む。 e-mail: miyazaki.mitsuhiro@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 近松 彰 CHIKAMATSU Akira **☎(5335)	固体物理化学 Physical Chemistry of Solids	【固体物性化学、固体反応化学、機能材料化学】原子レベルで制御する結晶成長法に様々な化学反応を組み合わせて、新しい機能性を持った固体物質を創出する研究を行う。また、先端分析技術や理論計算を活用し、化学反応機構・物性発現機構を解明する研究にも取り組む。 e-mail: chikamatsu.akira@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor	GSC 伊村 くらら IMURA Clara **☎(5291)	ナノ構造材料化学 Nanostructured Material Chemistry	【機能性ナノ材料、コロイド・界面化学】界面化学の視点から、触媒材料、光学材料へとつながる金属ナノ結晶の形態制御とその機構解明を行う。さらに、分子間相互作用にもとづく低分子化合物とのハイブリッド材料を構築し、分野横断的なアプローチからの新規な機能性開拓にも積極的に取り組む。 e-mail: imura.clara@ocha.ac.jp	
講師 Lecturer	GSC 三宅 亮介 MIYAKE Ryosuke **☎(2649)	構造分子科学 Structural Molecular Science	【錯体化学・超分子化学】金属錯体をデザインし、さらに構造変換に基づき物性変換することにより省エネルギー・高効率の機能創出を目指しています。分子レベルでの観測・理解に基づいて、精密な機能設計・制御を行います。特に構造特性やデザイン性に着目してペプチド金属錯体結晶を軸に研究を進めています。 e-mail: miyake.ryosuke@ocha.ac.jp	

- (注1) ○は2025年度末をもって退職予定の教員である。
なお、2023年度末(2024年3月31日付)で定年退職予定の教員は記載されていない。
(注2) ※は、領域代表である。
(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。
(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

情報科学領域 Computer Science			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 GSC Professor ◎ (5386) 吉田 裕亮 YOSHIDA Hiroaki	非可換解析論 Noncommutative Analysis	【非可換解析学】非可換解析学とは、量子系を記述する数学的な道具である。非可換解析学において、中心的な役割を果たす作用素環論、最近では特に、作用素環上で考えられる非可換確率論に関連した研究を行っている。 e-mail: yoshida@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor ☎ (5379) 小口 正人 OGUCHI Masato	情報ネットワーク論 Information Network	【ネットワークコンピューティング】ネットワークにより接続された種々の計算機資源を互いに連携させ、高度なデータ処理を行うためのネットワークコンピューティング・ミドルウェアの研究を行う。 e-mail: oguchi@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor ○** (5382) 浅本 紀子 ASAMOTO Noriko	コンピュータ援用論 Computer Aided Instruction	【情報数学】自然や社会の現象の解析において計算機を使ったアプローチを行う。数式処理系の現象理解への応用や、知識獲得の過程における計算機による支援を研究する。また教育現場とくに遠隔教育での計算機やネットワークによる支援を研究する。 e-mail: asamoto@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor ☎ (5708) 小林 一郎 KOBAYASHI Ichiro	知能情報処理論 Advanced Intelligent Information Processing	【知能情報処理、言語情報処理】近年、知的といわれるコンピュータシステムをつくるのに、言語など様々なモダリティがメディアとして活用され、その役割が大きくなってきている。本講義では知的な情報サービスを実現するために言語を中心とするメディアがどのように表現され、知的な情報処理として利用されるのかについて考察する。また、Web上などで実現されている意味を対象にした情報処理技術についても議論する。 e-mail: koba@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor ☎ (5700) 伊藤 貴之 ITO Takayuki	画像情報論 Visual Informatics	【情報可視化】情報を画面上でビジュアルに表現する諸技術について研究する。具体的な適用事例として、科学技術や社会現象の理解、機械学習やデータサイエンスの支援、画像・音楽・文章などの各種メディアの対話的分析などを目的とした情報可視化について研究する。 e-mail: itot@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor ※ (5388) 浅井 健一 ASAI Kenichi	プログラム変換論 Program Transformation	【プログラミング言語】部分評価を始めとするプログラム変換、部分継続の理論と応用、型理論、プログラムの正当性の証明、自己反映言語など、おもに関数型言語に軸足を置いたプログラミング言語の理論と応用について研究を行っている。 e-mail: asai@is.ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor ☎ (5378) 戸次 大介 BEKKI Daisuke	情報構造解析論 Advanced Applied Analysis	【数理言語学】自然言語の、主に統語論、意味論、語用論に対して、記号論理、ラムダ計算、圏などの数理論理的アプローチを用いた分析を行っている。 e-mail: bekki@is.ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor ☎ (5380) 工藤 和恵 KUDO Kazue	統計数理論 Statistical Mathematics	【数値計算、統計力学】統計力学で扱われる問題は、幅広い。その中でも、特に量子ダイナミクスや非平衡系のパターン形成の問題を、主に数値計算を用いて研究している。 e-mail: kudo@is.ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor ** (5398) 五十嵐 悠紀 IGARASHI Yuki	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション論 Human-Computer Interaction	【ヒューマンコンピュータインタラクション、グラフィックス】人間とコンピュータの対話手段であるHCI技術について、生活空間で誰もが利用可能な未来のコンピュータのあり方を研究する。また、グラフィックス表現を用いた初心者のための支援技術についても研究する。 e-mail: yuki@is.ocha.ac.jp	
准教授 GSC Associate Professor ** (5398) LE Hieu Hanh LE Hieu Hanh	データ管理活用論 Data Management and Application	【データ管理活用論】多種多様なデータを蓄積し有効に活用することが求められる中、信頼性の高いデータ格納方法や高速なデータ処理および高度なデータ分析等を実現するために、データ管理活用に関する研究を行う。 e-mail: le@is.ocha.ac.jp	
講師 GSC Lecturer ** (5773) オベル加藤 ナタナエル Nathanael AUBERT-KATO	分子ロボティクス論 Molecular Robotics	計算能力を持つ化学反応ネットワークのシミュレーションと分析を行なっている。また、そういうシステムの設計のため、進化的戦略アルゴリズムを研究している。 e-mail: naubertkato@ocha.ac.jp	
講師 GSC Lecturer ** (5384) 長尾 篤樹 NAGAO Atsuki	計算複雑性理論 Theory of Computational Complexity	【計算量理論、アルゴリズム論】我々の生活に存在する実問題の多くは離散的なモデルで表現することができるが、それらの最適解を現実的な計算リソースで求める事が難しい場合がほとんどである。解決という行為が、扱う問題や使用可能な計算資源によってどのような違いがあるのかを解析し、また、特定の問題に対してより効率的なアルゴリズムの開発、その理論的保障の解析を行う。 e-mail: a-nagao@is.ocha.ac.jp	
講師 GSC Lecturer ** (5384) 神山 翼 KOHYAMA Tsubasa	気象数理論 Mathematics in Meteorology	【気象学・物理気候学・大気海洋データ解析】地球の気象・気候の現在の姿とふるまいはどのように決定されているのかについて、特に応用数学・情報科学的視点から明らかにすることを目指す。 e-mail: tsubasa@is.ocha.ac.jp	

(注1) ◎は、2024年度末をもって退職予定であり、○は2025年度末をもって退職予定の教員である。

なお、2023年度末（2024年3月31日付）で定年退職予定の教員は記載されていない。

(注2) ※は、領域代表である。

(注3) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注4) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。

生活工学共同専攻			
担当教員 Position Name	授業科目 Main Subject	研究テーマ又は研究分野	
教授 GSC Professor 太田 裕治 OHTA Yuji ☎(5739)	生活支援工学 Life Support Engineering	【人間工学】我々の生活と直接関連する生活支援機器、高齢者支援機器、人工臓器等の医用福祉機器の開発に関する工学的基礎研究を行う。生体システムを深く解析すると同時にシンセシス（設計）と技術評価に重点をおきつつ研究を進めている。 e-mail: ohta.yuji@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 大瀧 雅寛 OTAKI Masahiro ☎(5748)	環境衛生工学特論 Environmental Sanitation Engineering, Advanced Course	【環境工学】安全で快適な生活環境を確保するために、環境因子（主に水環境）が人間に与える様々な影響を評価する手法、及びそれらを管理制御する技術について工学的に検討、研究を行う。 e-mail: otaki.masahiro@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 元岡 展久 MOTOOKA Nobuhisa ☎(5585)	建築設計学 Architectural Design	【建築意匠論】建築は何を表現するのか？様々な建築の実例を通じて、建築形態を分析し、設計の意図ならびに方法を研究する。 e-mail: motooka.nobuhisa@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 長澤 夏子 NAGASAWA Natsuko ☎(5743)	建築環境論 Architectural Planning Theory	【建築人間工学】都市や建物の利用者および環境にやさしい建築をつくるために、人間の生活、行動や身体とそれを取りまく環境について工学的なアプローチで、建築空間の設計の根拠を提示する研究をおこなう。 e-mail: nagasawa.natsuko@ocha.ac.jp	
教授 GSC Professor 近藤 恵 KONDO Megumi ☎(2551)	生活環境史特論 Living Environment History, Advanced Course	【自然人類学】ヒトの生物としての特徴を理解するため、現生の生体人類だけでなく、化石人類も研究対象とする。ヒトの身体に対する理解をより深め、それを踏まえて生活における身体に関わる諸問題について研究する。 e-mail: kondo.megumi@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC ** 河合 英徳 KAWAI Hidenori ☎(5917)	居住空間環境学特論 Residential Space Environmental Science	【建築環境工学】建築の内外に形成される微気象（主に熟環境、風環境）を数値解析や観測により明らかにしながら、頻発する極端気象や気候変動に適応した生活空間の環境設計手法やその評価技術に関する研究を行う。 e-mail: kawai.hidenori@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC トリベッテ ジュリアン TRIPETTE Julien	身体行動・健康論 Physical Behavior and Health Theory	【健康・運動科学】非感染性疾患を防ぎ健康寿命を延ばすことで生活の質を向上させることを目的とし、ウェアラブルセンサーなどを使用して、行動の認識または身体活動量の評価方法等の新しい手法について研究を行う。 e-mail: tripette.julien@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC ** 藤山 真美子 FUJIYAMA Mamiko ☎(5477)	デザイン工学 Design Engineering Theory	【都市・建築デザイン学】都市・建築空間を構成する自然、技術、生活等の重層的構造について検証を行うとともに、次世代社会における都市・建築デザインの可能性について工学的理論と芸術的感性の総合的視点から研究を行う。 e-mail: fujiyama.mamiko@ocha.ac.jp	
准教授 Associate Professor GSC 秋元 文 AKIMOTO Aya		【】 e-mail: @ocha.ac.jp	
講師 Lecturer GSC ** 土田 修平 TSUCHIDA Shuhei	エンターテインメントコンピューティング特論 Special lecture of entertainment computing	【情報工学、ヒューマンコンピュータインタラクション、計算機工学】 e-mail: tsuchida.shuhei@ocha.ac.jp	

(注1) GSCは、Global Students Course担当可能教員である。

(注2) **印の教員は、主任指導教員として志望できない。